

令和7年度静岡県教育研究会生活科・総合的な学習研究部 夏季研究大会生活科実践発表【富士地区】

「園小接続 ～園小を滑らかにつなぐ～」

富士市立丘小学校教諭 石井香織

スタートカリキュラムについて

① スタートカリキュラムを計画導入するにあたり大事にしてきたこと

近年、小学校入学後、学校生活になじめず、集中ができない児童が以前に比べて増えている。本校でも、登校時、泣きながら保護者と一緒に登校する子、苦手な活動を拒否してしまう子がいる。どの子も楽しんで学校生活を送ることができるために、どのような支援や配慮が必要か等、日々試行錯誤してきた。

入学してくる子供たちが安心して楽しく学校に通うことができるように、園教職員の意見を参考にしてスタートカリキュラムを作成し、本年度の実践を行ってきた。子供たちが幼稚園・保育園時代に培ってきた力を生かしつつ、新しい学びが多い小学校生活への期待感もてるように、カリキュラムと生活環境を工夫した。これまでに実践してきたことに加え、知育玩具等で遊べる場「わくわくらんど」を設けた。さらに、入学後2週間を幼保教育からの移行期間と捉え、生活科との関連から授業内容を考えた「わくわくタイム」や、生活になじめるよう交流活動などを取り入れた「なかよしタイム」を中心とした時間割を作成した。また、特に朝の時間にはゆとりをもたせ、楽しい雰囲気スタートできるような工夫も取り入れたり、みんなで生活しているという安心感をもてるように他学年や園児との交流活動を多く取り入れたりした。

こうした楽しさを重視した活動や、時間にゆとりのある2週間の生活後、学習が中心となる生活に移行させていくことに不安があったが、学校全体で1年生をバックアップしたり、どうしたら主体的に楽しく進んでいけるのかを念頭に置いて計画をしていったりしたことで、滑らかな接続をすることができた。

指導要領総則 73 ページには、「～教科等間の関連を積極的に図り、幼児期の教育及び中学年以降の教育との円滑な接続が図られるよう工夫すること。特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと。」とある。そこで、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割や、円滑な接続が図れるような工夫をしてきた。



実践報告1 「合科的・関連的な指導や弾力的な時間割について」

【3つの学びの時間帯】

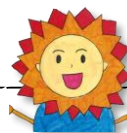
♡ なかよしタイム	交流活動やレクリエーション等を通じて、学校や友達、担任等に慣れ、安心して生活ができるようにすることを目的とする時間。
★ わくわくタイム	幼児期に身に付けたことを生かし、生活科を中心として様々な教科等と合科・関連を図り、楽しい活動を取り入れながら教科学習に円滑に移行していくための時間。
◎ 学習の時間	教科等の学習へ徐々に移行し、教科等特有の学び方や見方・考え方を身に付けていく時間。

次ページの表は、入学から2週間分の週日課予定である。保護者にも取組を周知するため、学年だよりとして配布した。実施後の取組について、保護者アンケートを実施した。(24 ページ参照) (他学年、園児との交流の事例や考察は、27 ページ参照)

登校してから、学習に入るまでの時間にゆとりをもたせるため、1時間目の始まりを15分遅らせて、歌を歌ったり、レクリエーションをしたり、読み聞かせをしたり、挨拶や詩の群読等声を出す活動を取り入れたりして、一日の始まりが楽しいものとなるよう工夫した。(詳しくは、次ページ参照)

また、わくわくタイムでは、幼児期に体験したことを生かしつつ、楽しみながら学べるよう、体験的活動を取り入れたり、学校や学習について知っていく時間となったりするよう計画を立てた。





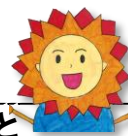
今週のめあて: 学校生活の一日に慣れたり、安全に登下校できるようになること

♥…なかよしタイム (生活に慣れる) ★…わくわくタイム (生活科との関連) ◎学習の時間

	4月8日(月)	4月9日(火)	4月10日(水)	4月11日(木)	4月12日(金)
ぎよ うじ		ぎゅうにゅう きゅうしょく	はついくそくてい ぎゅうにゅう	きゅうしょく はじまり	めのけんさ ごごとくにつか
げこう	11:35	11:35	11:35	13:50	★13:10★
	♥あさ、6ねんせいがおてつだいにきてくれるよ!				
あさ	♥かぼんのかたづけ けんこうかんさつ ほんとなかよし みんなであそぼう	♥かぼんのかたづけ けんこうかんさつ ほんとなかよし みんなであそぼう	♥かぼんのかたづけ けんこうかんさつ ほんとなかよし みんなであそぼう	♥けんこうかんさつ 6ねんせいこんにちは	♥けんこうかんさつ ほんとなかよし
1 じ か ん め	★わくわく(国語) 「たのしい いちにち」 ・あいさつで なかよくなるよ。	★わくわく(国語) 「わたしのなまえ をかこう」 ・かいてみよう	★わくわく(生活) 「たいそうぶくに きがえよう」 ・おぼえよう	★わくわく(国語) 「がっこうの もじたんけん」 ・6ねんせいと いっしょにがっ こうたんけんを しよう	★わくわく(国語) 「おはなしたく さんききたいな」 ・しよのせん せいによんでも らおう
2 じ か ん め	★わくわく(生活) 「つかいかた」 ・トイレや、すい どうのつかいか たをおぼえよう (3ねんせいといっ しょにつかうよ)	★わくわく(生活) 「よろしくね わたしのなまえ」 ・みんなのなま えとかおをおぼ えよう	○はついくそくてい ・いろいろなせん せいもおてつだ いしてくれるよ	★わくわく(体育) 「ゆうぐの つかいかた」 ・ゆうぐであそ ぼう。2ねんせい もくるよ。 (体操服着替えなし)	◎めのけんさ: 視力 ・ゆうひせんせい にけんさしてもら おう ・はんかちをつかう よ
3 じ か ん め	★わくわく(学活) 「げこうのしかた」 ・いっしょにかえ るなかまはだれか な	★わくわく(生活) 「たのしいきゅう しょく」 ・ぎゅうにゅうの のみかた	★わくわく(生活) 「たのしかったこ とをはなそう」 ・ふりかえろう (帰りの会)	★わくわく(算数) 「はじめてみよう」 ・さんすうぼく すをあけてみよう ・きょうかしよを みてみよう	★わくわく(生活) 「うらやまへいこう」 ・やまであそぼう ・えんのなかまも いっしょに
4 じ か ん め	※上記の下校時刻は、授業終了後20分後の時刻です。 10日までは下校コースごと職員と共に下校します。 ※()にある教科の教科書を毎日持たせてください。今後、生活科、音楽、図工、道徳、明るい声では、 教室保管となります。			★わくわく(生活) 「たのしいきゅう しょく」 ・きゅうしょくの ことをしよう	♥なかよし(音楽) 「みんなであうた おう」 ・うたったり、お どったりしてなか よくなるよ。
もち もの	★入学説明会で お願いした書類一式 ★げつようせつと	★きゅうしょく せつと	★きゅうしょく せつと ★たいいくぎ	★きゅうしょくせつと ★すいとう ※水筒(お茶等)は毎日持参することができます。	★きゅうしょくせつと ★すいとう
【きゅうしょくせつと】: 毎日持ち帰り ・はし (日によってスプーン、フォーク) ・ナフキン ・マスク ・ (はぶらし、コップ: 必要な人)			【げつようせつと】: 毎週末持ち帰り ・あかしろうし ・うわばき ・きゅうしょくふくろ		



※ 丸印は、交流・レクリエーションが含まれる時間



今週のめあて: 学習準備(給食、着替え、カバンの中の物を自分でできるようになること)

♥…なかよしタイム (生活に慣れる) ★…わくわくタイム (生活科との関連) ◎学習の時間

	4月15日(月)	4月16日(火)	4月17日(水)	4月18日(木)	4月19日(金)
ぎょうじ		めのけんさ 13:30～		1ねんせいを むかえるかい	じゅぎょうさんかん たんにんあいさつ
げこう	13:50	13:50	13:50	13:50	13:50
あさ	♥けんこうかんさつ とうばんのおしごと ↓	♥けんこうかんさつ レクリエーション ↓	♥けんこうかんさつ うたをうたおう ↓	♥けんこうかんさつ ほんとなかよし ↓	♥けんこうかんさつ うたをうたおう ↓
1 じ か ん め	★わくわく(国語) ・あいさつでなかよくな ろう ♥なかよし(音楽) 「みんなであうたおう」 ・なかよくなろう ・4ねんせいが「こう か」をうたってくれる よ	★わくわく(国語) ・こえのおおきさどの くらい ★わくわく(生活) 「がっこうたんけん」 ・おにいさんおねえさ んたちはなにをしてい るかな	★わくわく(国語) ・げんきよくこえをだそう ・こえをあわせてあいうえお ◎こくご 「なかよしのみち」 ・えをみておはな しをつくろう	★わくわく(国語) ・おはなしたくさんき きたいな ★わくわく(生活) 「わくわくどきどき しょうがっこう」 ・どんなことがたの しみかな	★わくわく(国語) ・げんきよくこえをだそう ・こえをあわせてあいうえお ◎こくご 「なかよしのみち」 ・えをみておはな しをつくろう
2 じ か ん め	★わくわく(算数) 「かぞえてみよう」 ・かぞえたことは あるかな ・かぞえてみよう	★わくわく(算数) 「10までのかず」 ・すうじをしろ う ・ゲームをしよう	★わくわく(算数) 「10までのかず」 ・すうじをしろ う ・ゲームをしよう	◎こくご 「こえをあわせて あいうえお」 「ひらがな」 ・じのかたちをよく みてかいてみよう	★わくわく(算数) 【授業参観】 「10までのか ず」 ・すうじをしろ う ・ゲームをしよう
3 じ か ん め	○しゅしゃ 「かいてみよう」 ・くねくね、ぐるぐ るをかいてみよう ♥よみきかせ	♥なかよし(体育) 「ならびっこ」 「ボールあそび」 (うんどうじょう) ・1, 2くみのみ んなであそぼう	♥なかよし(体育) 「ならびっこ」 「おにごっこ」 (たいいくかん) ・1, 2くみのみ んなであそぼう ♥むかえるかい リハーサル	♥なかよし(体育) 「ゆうぐであそぼう」 (うんどうじょう) ・あんぜんにきをつ けてなかよくあそ ぼう ♥むかえるかい リハーサル	★わくわく(生活) 「わくわくどきどき しょうがっこう」 ・ともだちをつ くろう ・めいしづくり ・だれにめいしを あげようかな
4 じ か ん め	★わくわく(図工) 「わたしのかお」 ・みんなのかおを かいてはろう ・クレヨンであそ ぼう	♥なかよし(音楽) 「みんなであうたおう」 ・うたっておど ってなかよくな ろう ・リズムでなまえを よびあおう	★わくわく(図工) 「ねんどあそび」 ・すきなものを つくろう	♥なかよし(道徳) 「じぶんのすきな こと」 ・えやもじでか いておしえてあ げよう ・レクリエー ション	★わくわく(学活) 「おそうじめいじん」 ・おそうじどうぐを みてみよう ・どうやってつか うかな (らいしゅうから5 ねんせいがおし えてくれるよ)
もち もの	★きゅうしょくせつと ★げつようせつと	★きゅうしょくせつと ★たいいくぎ	★きゅうしょくせつと ★たいいくぎ	★おべんとう ★すいとう ★たいいくぎ	★きゅうしょくせつと ★ぞうきん2まい (入学式で出した方は結 構です)
	※ねんど、ねんどばん、シートは17にちまでに				

② 実践報告2 「円滑な接続を図るための工夫について」

【朝の時間の流れ】

時刻	通常の日課	スタートカリキュラム
8:00	登校・片付け(15)	登校・片付け・ <u>自由遊び</u> (25)
05		
10		
15	朝読書(10)	
20		
25	朝の連絡の時間(5)	健康観察やレクリエーション等 一日の見通しを持つ時間 朝の連絡の時間 (20)
30	1 時間目(45)	
35		
40		
45		
50		
55		
9:00	1 時間目(30)	
05		
10		
15		

朝のしたくが終わった子供から、自由に遊べる時間とした。始めの2週間は6年生が登校後、したくの手伝いや遊び相手として8時25分まで教室に来た。(当番制)

8時25分から45分までの約20分間は、歌や挨拶ゲームなどでウォーミングアップした。その後友達と触

れ合えるようなレクリエーションや気持ちを落ち着かせる読み聞かせなどを日によって組み合わせ、楽しんだ後に一日の流れを確認して期待を持たせるようにした。歌や室内ゲームなどは、3園にアンケートをとり、親しみのあるものを事前に調べ活用できるようにした。

～ある日の朝の流れ～

- ・タイマーが鳴り、「お片付け」の曲に合わせて遊びの片付けをする。
- ・片付け終わった子供たちから、オルガンに合わせて、「さんぽ」を歌う。
- ・全員集まったら「猛獣狩り」をし、集まった友達と「挨拶ゲーム」をする。
- ・上記のゲームを繰り返し、いろいろな子供と触れ合えるようにする。
- ・ウォーミングアップが済み、席に着いた後に、一日の流れを確認する。



困っている子供を見付けて、6年生がお手伝い。



朝の自由遊び。自分でやりたいものを選んで。



朝のレクリエーションで楽しく触れ合い。

(参観した園の先生より)

- ・6年生の見守りのもと、安全に子供同士で朝の時間を過ごすことができていた。
- ・オルガンで「お片付け」から、早く終わった子供から歌を歌うという流れは、まさに園と同じ流れで子供に無理がなく、テンポもよく、自然と体が動いていた。
- ・ゆとりのあるスタートや楽しい朝の会の時間は、園生活の延長のような時間で子供たちも安心して一日の始まりを楽しく迎えることができていた。



【遊びの環境作り：自由遊びを実現させるために】



2階オープンスペースを活用し、「わくわくランド」を開設した。休み時間や朝の時間、1年生が自由に遊べるスペースである。



玩具は、特別支援学級の教具を参考に、1年生にふさわしい知育玩具を選んで購入した。他クラスの子供とも交流できた。



幼児期と同じように、床に直接座って遊べるよう、マットやござを敷き、丸テーブルを置いた。本やぬいぐるみも準備した。



園で慣れ親しんできた伝承遊びも取り入れた。自然と交流する姿が見られた。



玩具の遊び方、片付け方、時間の使い方等を定着させるため、始めの1か月は教室に玩具を置き、ルールが理解できるようにした。



玩具を自分から有効に利用できるようにするために、玩具ケースに写真表示を付けた。

(参観した園の先生より)

- ・玩具の片付け場所の表示があり、分かりやすいし取り出しやすい。
- ・仲間と遊べる環境があることで、友達との自然な関わりがもてる。
- ・遊びを選択できることは、支度を頑張ろうとすることにつながっている。



【教室環境：自分たちで考えながら生活できるように】



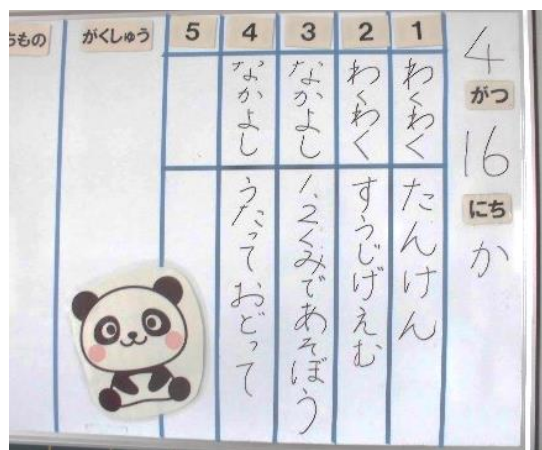
登校後の手順をカードにして掲示することで、自分で見て判断できる。



朝、その日にかかわるメッセージを書いておくことで、1日の見通しを持ち、楽しみにする。



タイマーと模型時計で、時刻を予告することにより、時間を意識して自分たちで動くことができる。



次の見通しをもって生活できるように、一日の予定を短い言葉で表記する。



自分の荷物を自分で管理できるように、個別のロッカーの下に、共同ロッカーを設置した。

(参観した園の先生より)

- ・黒板の写真掲示は分かりやすく、子供たちが次の活動を見通して動いたり、自分のことは自分でしたりする姿につながっていた。
- ・黒板の朝の一言は、「今日は何かな。」と一日の期待感や主な活動と結びつき、見通しが持て安心することにつながっていた。
- ・タイマーの数字や掲示の文字が、自分の生活の流れに必要なことに気付いている。また、子供同士で「そろそろ時間です。」と呼びかけ合う姿も見られた。



【教師側の意図的な声掛けや学びの要素】

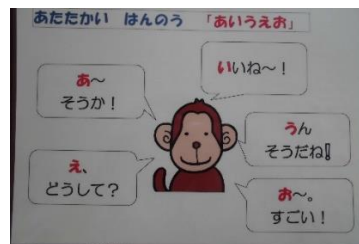
子供たちが学校生活に早く馴染んで楽しく生活できるよう、下図のことにも気を付けてきた。



濡れていたら、自分で雑巾を借りてカバンを拭く。



「話す・聞く」の基本。聞くときは、友達の方を見る。



朝の会での合言葉。全員で声を出して反応する。



わくわくたいむ(算数)10までの数で、ペアゲームを通して交流。



挿絵を見て、ペアの友達と相談タイム。一緒に活動すると安心。



「ペアトーク」好きな食べ物や好きな遊びなどを伝え合って交流。話す練習。

(参観した園の先生より)

- ・朝は担任が教室で子供たちを迎え入れ、安心できるよう明るい挨拶と一言を添えるようにしていた。
- ・ランドセルのしまい方やその他の片付けの仕方などは、まず自分たちでしまい、朝の会の時間に全体で振り返る。しまい方と片付けの仕方の必要性を感じながら行っていた。
- ・初めての雨の日の登校では、「濡れたカバンは雑巾で拭く、靴下の替えを持ってくると便利、道路の歩き方、傘のしまい方」などについて確認し、雨の日の動き方につなげていた。
- ・廊下を静かに歩きたいとき、なぜ静かに歩くことが大事かを押さえ、合言葉を「忍者で」とし、気を付けて廊下歩行できるようにしていた。
- ・読み聞かせでは、「読み聞かせクイズ」を出し、聞くだけでなく、考えて聞く、友達と相談するなど学びの要素を取り入れていた。
- ・朝、出席をとるときに、今日の調子プラス一言を言うことで、伝える力や聞く力が育つ。
- ・わくわくタイム(国語)では、体を動かしたり、歌を入れたり、また、お話し作りでは隣の人と相談したりしながら進めたりと、楽しみながら学べるよう工夫していた。



・・・ 5 歳児 ・・・

「なかよくなろうね小さなともだち～ムシムシランド～」

・・・ 1 年生 ・・・

Step1 : 同種の活動

Step2 : 子どもの姿（事例など）

5 歳児

- ・知っている 1 年生に会えたことが嬉しくて喜んでいた。
- ・前回よりも小学校の先生の話聞こうとする姿勢が見えていた。
- ・虫を捕まえたいと張り切っていた。
- ・同じトンボを捕まえたいという思いがあったからか、小学生（知らない子）に、「一緒に捕まえよう」と声を掛ける姿があった。
- ・小学生が虫を探す姿を見て、真似して同じところを探そうとするなど、自然と後について行く姿があった。
- ・「ここにいた」と園児が声を上げると、小学生が集まってきて一緒に探す姿があった。
- ・虫を捕まえたいという小学生たちの熱い思いが感じられて、「罌を仕掛けよう」「暗いところに集めよう」と話しながら、どうやら捕まえられのかを考えていた。
- ・死んだカメムシに蟻が群がっている様子を、しばらくじーっと観察していた。
- ・図鑑を持って来て、捕まえた虫を調べる子もいた。
- ・夢中で虫を探していたからこそ、知らない子同士でも関わりが見られた。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿

生活科を中心としたスタートカリキュラム

1 年生

- ・「今日は絶対虫を捕まえたい」という思いが強く交流よりもまずは虫捕りに夢中になっていたが、その中でも一緒に虫を探したり、手をつないだり園児との交流を楽しむ姿もあった。
- ・小学生以上に虫を捕るのがうまい園児もいたので、「負けてられないぞ」と刺激を受けていた。
- ・捕まえた生き物を園児にも見せて、「こんなの見つけたよ」と関わりを楽しむ姿があった。
- ・園児がなかなか捕まえられずにいると、「やってあげるよ」と手伝ってくれる小学生がいた。
- ・「僕 2 匹取ったからあげようか？」と同級生よりも先に年下の園児に自然と声を掛けていた。
- ・中には 1 匹しかいなくても「園の子にあげたよ」という小学生もいた。
- ・小学生は虫の名前をよく知っていて教えてくれた。（行く前に調べ学習をしている。）
- ・木の実拾いをしていた園児に「虫捕り難しいよね。それもいいね。」と優しく声を掛けていた。

知識及び技能の基礎

思考力・判断力・表現力の基礎

学びに向かう力・人間性等

Step3 : 共通項

Point

虫捕りをしたり秋を見つけたりする
（⑦自然との関わり生命尊重）



Point

感じたことを伝え合う
（⑨言葉による伝え合い
⑩豊かな感性と表現）



Point

虫捕りを通して仲良しになる
（③協同性）



Point

生き物のことを知ろうとする
（⑥思考力の芽生え）



Goal : 接続期のポイント

（小）園児と共に活動する中で、年上として何かしてあげたいという思いが芽生えた。

（園）大人数の中で自分を表現する経験や小学生に憧れの気持ちをもつ経験になった。顔見知りが増える安心感になった。

幼児期の終わりまでに育てたい姿	小学校で育てたい 10 の姿		
	低	中	高
<div>1健康な心と体</div> <div>幼稚園生活の中で、充実感をもって自分のやりたいことに向 かって心と体を十分に働かせ、見通しをもって行動し、自ら健 康で安全な生活をつくり出すようになる。</div> <div></div>	<div>・健康や安全に留意し て、意欲的に運動す る。</div> <div>・課題にのびのびと楽 しく取り組む</div>	<div>・健康の大切さに気付 き、健康の保持増進 に進んで取り組む。</div> <div>・課題に対して主体的 に取り組む。</div>	<div>・健康の保持増進や回 復に進んで取り組む。</div> <div>・次の課題を見通して、 自ら課題を設定し、 主体的に取り組む。</div>
<div>2自立心</div> <div>身近な環境に主体的に関わり様々な活動を楽しむ中で、しな ければならないことを自覚し、自分の力で行うために考えたり 、工夫したりしながら、諦めずにやり遂げることで達成感を 味わい、自信をもって行動するようになる。</div> <div></div>	<div>・周りの助けを借りな がら粘り強く取り組 む。</div>	<div>・目標に向かって粘り 強く取り組み、やり 遂げようとする。</div>	<div>・目標達成するための 方法を自ら考え、粘 り強く取り組み、や り遂げようとする。</div>
<div>3協同性</div> <div>友達と関わる中で、互いの思いや考えなどを共有し、共通の 目的の実現に向けて、考えたり、工夫したり、協力したりし、 充実感をもってやり遂げるようになる。</div> <div></div>	<div>・共通の目的実現に向 けて、友達と協力し て取り組む。</div>	<div>・共通の目的実現に向 けて、友達と話し合 い、協力して取り組 む。</div>	<div>・共通の目的の実現に 向けて、友達と話し 合い、合意形成を図 り、協力して目的を 実現しようとする。</div>
<div>4道徳性・規範意識の芽生え</div> <div>友達と様々な体験を重ねる中で、してよいことや悪いことが 分かり、自分の行動を振り返ったり、友達の気持ちに共感した りし、相手の立場に立って行動するようになる。また、きまり を守る必要性が分かり、自分の気持ちを調整し、友達と折り合 いを付けながら、きまりをつくったり、守ったりするようにな る。</div> <div></div>	<div>・友達の気持ちを理解 し、ルールを話し合 ったり守ったりして 活動に取り組む。</div>	<div>・友達の気持ちに寄り 添い共感し、折り合 いを付けて活動に取 り組む。</div>	<div>・友達の気持ちや立場 に寄り添い、場の状 況に合わせて折り合 いを付けて活動に取 り組む。</div>
<div>5社会生活との関わり</div> <div>家族を大切にしようとする気持ちをもつとともに、地域の身 近な人と触れ合う中で、人との様々な関わり方に気付き、相手 の気持ちを考えて関わり、自分が役に立つ喜びを感じ、地域に 親しみをもつようになる。また、幼稚園内外の様々な環境に関 わる中で、遊びや生活に必要な情報を取り入れ、情報に基づき 判断したり、情報を伝え合ったり、活用したりするなど、情報 を役立てながら活動するようになるとともに、公共の施設を大 切に利用するなどして、社会とのつながりなどを意識するよう になる。</div> <div></div>	<div>・身近なものや人との 関わりの中で気付い た情報を役立てなが ら、楽しんで伝え合 う。</div>	<div>・身近なものや人との 関わりから気付いた 情報を積極的に取り 入れて情報を役立て ながら活動する。</div>	<div>・社会や他者との関わ りから気付いた情報 を積極的に取り入 れ、地域や社会のつ ながりを意識して活 動する。</div>
<div>6思考力の芽生え</div> <div>身近な事象に積極的に関わる中で、物の性質や仕組みなどを 感じ取ったり、気付いたりし、考えたり、予想したり、工夫し たりするなど、多様な関わりを楽しむようになる。また、友達 の様々な考えに触れる中で、自分と異なる考えがあることに気 付き、自ら判断したり、考え直したりするなど、新しい考えを 生み出す喜びを味わいながら、自分の考えをよりよいものにす るようになる。</div> <div></div>	<div>・身近な事象について 予想したり、試した りして、問題の解決 を楽しむ。</div>	<div>・身近な事象について 予想したり、試した りして、探究心をも って、主体的に問題 を解決しようとする。</div>	<div>・身近な事象について 予想したり、試した りして探究心をもっ て、問題を解決し、新 たな疑問をもつ。</div>
<div>7自然との関わり・生命尊重</div> <div>自然に触れて感動する体験を通して、自然の変化などを感じ 取り、好奇心や探究心をもって考え言葉などで表現し ながら、 身近な事象への関心が高まるとともに、自然への愛情や畏敬の 念をもつようになる。また、身近な動植物に心を動かされる中 で、生命の不思議さや尊さに気付き、身近な動植物への接し方 を考え、命あるものとしていたわり、大切にすることをもち て関わるようになる。</div> <div></div>	<div>・自然に触れて、身近な 自然の美しさや不思議 さに気付き、命ある ものをいたわる。</div>	<div>・自然に触れてその変 化を感じ、身近な自然 の美しさや不思議 さに感動する。</div>	<div>・自然に触れてその変 化を感じ、身近な自然 の美しさや尊さに 気付き、生命への畏 敬の念をもつ。</div>
<div>8数量や図形、標識や文字などへの関心・感覚</div> <div>遊びや生活の中で、数量や図形、標識や文字などに親しむ体 験を重ねたり、標識や文字の役割に気付いたりし、自らの必要 感に基づきこれらを活用し、興味や関心、感覚をもつようにな る。</div> <div></div>	<div>・数量や図形、文字に興 味関心をもち、楽し く書いたり数えたり する。</div>	<div>・数量や図形、文字に親 しみ、正しく書いたり 計算したりする。</div>	<div>・数量や図形、文字など の概念を理解し正し く書いたり計算した りし、適した場面で活 用する。</div>
<div>9言葉による伝え合い</div> <div>先生や友達と心を通わせる中で、絵本や物語などに親しみな がら、豊かな言葉や表現を身に付け、経験したことや考えたこ となどを言葉で伝えたり、相手の話を注意して聞いたりし、言 葉による伝え合いを楽しむようになる。</div> <div></div>	<div>・相手の話を聞いたり、 自分の考えを話した りして、言葉によっ て伝え合うことに興 味をもつ。</div>	<div>・相手の話を聞いて理 解したり、自分の考 えを言葉で伝えたり する。</div>	<div>・相手の考えを認め、理 解を深めたり、自分 の考えを相手に合わ せて分かりやすく伝 えたりする。</div>
<div>10豊かな感性と表現</div> <div>心を動かす出来事などに触れ感性を働かせる中で、様々な素 材の特徴や表現の仕方などに気付き、感じたことや考えたこと を自分で表現したり、友達同士で表現する過程を楽しんだり し、表現する喜びを味わい、意欲をもつようになる。</div> <div></div>	<div>・自由な感性をもとに、 自分の気持ちを楽し んで表現する。</div>	<div>・自由な感性をもとに 思いを巡らせ、自分 の気持ちや考えを適 切に表現する。</div>	<div>・自由な感性をもとに 思いを巡らせ、自分 の気持ちや考えを様 々な方法で表現す る。</div>